



▲ 田ノ実東京ソラマチ店外観



▲ レジ周りには物販コーナーも設置している



▲ お食事メニュー「田ノ実プレート」(花むすび2個セット)



仏壇のはせがわが手掛ける食と祈りのライフスタイルショップ 「田ノ実 (Tanomi)」2号店が東京ソラマチにオープン

株式会社はせがわ <https://tanomi.hasegawa.jp/>

同社ではライフスタイルの変化により、仏壇だけではお客のニーズに対応できないと感じたことから、仏壇に供えるお供え物に着目。食品や食にまつわる雑貨と、それらを使用した飲食メニューを展開する店舗として田ノ実1号店を2019年に自由が丘(以下自由が丘店)にオープンした。「田ノ実」の名称は、旧暦の8月1日(朔日)を「田の実の節句」と呼び、古く

仏壇業界のリーディングカンパニーである株式会社はせがわは、「日本の食」をテーマに「心豊かな暮らし」を提案するライフスタイルショップ「田ノ実 (Tanomi)」の2号店を東京スカイツリーのお膝元、東京ソラマチ(東京・押上)に5月22日(木)オープンした。

東京ソラマチ店(以下ソラマチ店)の看板メニューは、旬の野菜と出汁の旨みが詰まった「具だくさんの汁もの」と「花むすび」の定食。日本のベーシックな食事のかたちである、汁ものとご飯という組み合わせで提供される。飲食メニューは仙台でミシュランガイド掲載店「ゆきむら」を経営するオーナーシェフ・高橋幸輝氏が監修。作り置きをせず汁物も注文を受けてから調理するなど、丁寧な仕事香りや彩り、味わいにもにじみ出ている。

現在、はせがわの飲食ギフト事業の売上は2億8600万円(2025年3月期決算短信)となっており好調に推移している。自社オリジナルの食品や食にまつわる雑貨の売上も伸びていることから、今後はさらなる店舗展開を進めることで、EC展開を含め飲食ギフト事業の伸長に意欲を示している。

自由が丘店はコロナ禍の中でも売上は右肩上がりに伸び続けており、直近では年間来店客が15万人、リピーターも多く飲食利用者の物販購買率は約25%と極めて高い。こうした背景を受け、満を持して2号店のオープンとなった。

ソラマチ店は自由が丘店と違い、東京ソラマチ内の出店となる。また国内外からの観光客も多い。そこでメニューは比較的早く提供できるもので構成。また東京ソラマチのオープンが9時と早いことからモーニングメニューを用意している。店舗面積は18坪、席数は自由が丘店よりも少ない25席となっているが、レジ周りにはコンパクトながら物販コーナーもある。スタート時は食品のみだが、今後飲食で利用している器などの販売も計画している。

から農村で稲の収穫を祝い、豊作を祈願する日であることから、食べもののへの感謝を込めた名前としてつけられた。